

7【要望：緑の流域治水について】

◆（淵上陽一君）最後に、1点要望いたします。

本日は、木村県政への重点取組事項についてお尋ねいたしましたが、就任からやがて1年、今後一層くまもと新時代に向けた歩みが進んでいく期待が高まりました。

今回は質問事項に含めませんでしたが、県土の均衡な発展の観点から、県南地域振興の強化が必要であることは論をまちません。

その中でも、令和6年11月定例会で我が党の松田議員が一般質問でお尋ねしたとおり、今年7月で発災から5年を迎える球磨川流域の創造的復興は、引き続き喫緊の課題と認識しております。

木村知事は、常々、球磨川流域の復興なくして熊本の未来はないと述べられており、12月には、豪雨で被災した地域の再生、発展の方向性を示す新時代共創復興プランを策定されたところであります。

地域全体に寄り添いつつ、最後のお一人まで住まいとなりわいの再建を支援するとともに、地域の特色を生かした取組を、スピード感を持って具体的に進めていっていただくよう、改めてお願いします。

また、その前提となる安全、安心な地域の実現に向けて、川辺川における新たな流水型ダムを含む緑の流域治水を早急に進めていただくとともに、ダム建設により影響を受ける五木村、相良村の振興を目に見える形で着実に進めていただきますよう御要望いたします。

以上をもちまして私の代表質問を終わらせていただきます。

長時間御清聴いただき、誠にありがとうございました。